

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1 **学年・教科** 2年・生活科
- 2 **単元名** おいしいやさいになあれ
- 3 **実践者（所属）** 谷澤 伸英（南百合丘小学校）
- 4 **活動を始める前に**

（1）準備するもの

- デジカメ
- 実物投影機

（2）ICT機器やメディアの活用のねらい

- 子どもたちが自分なりの視点を持ち、デジカメの撮影ができる。
- 撮影した画像をワークシートに貼り付け、印刷できる。

5 **指導計画**

時	児童の活動	指導上の留意点
1	デジカメで各自が育てている野菜の様子を撮影する。	○野菜の鉢に各自の名前が書いてあるので、その名前の部分もいっしょに写すよう伝える。 ○撮影したデジカメのメモリーを集め、先生機にデータをコピーし、スカイメニューの機能で全ての生徒機のデスクトップにそのデータを送る。 ○子どもたちは、デスクトップに貼り付けられたデータから自分の写真を選び、テンプレート（観察カード）に貼り付ける。
2	撮影したデジカメの画像をキューブキッズを使い、テンプレート（観察カード）に貼り付ける。それを印刷する。	
3	印刷された観察カードに手書きで気付いたことを書き入れる。	

6 **活動の流れ**

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
1	○後で自分の写真をすぐには選べるように、野菜の鉢に書かれた自分の名前もいっしょに写すよう伝える。	○デジカメ撮影
2	○スカイメニューの機能を使い、教師の操作を全員の画面に映す。 ○撮影した全画像データを一度教師のパソコンにコピーし、それをスカイメニューの機能で生徒機に送る。	○パソコン (キューブキッズ、スカイメニュー)

7 **取り組み後の子ども達の変容や成果**

デジカメの撮影から印刷までの一連の流れをつかむことができるので、全てを自分でやったという達成感がもてた。

8 **応用できます！**

デジカメを使うさまざまな学習に応用できる。従って、低学年のうちにこのような操作をマスターすることでその後の学習をスムーズに進めることができるようになる。